

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係出入域、 外国人の法的地位沖縄出入域関係

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43390

日本十勝上國繪圖表示

日本十勝上國繪圖表示

北米局長
参事官
北米課長

三中綱船舶の乗組員の船員手帳

に口籍欄の有無

42.5.16
半 北

本16日の参謀院沖縄問題審議委員会に於いて岡田
宗司委員より、今度イドネア島を挙げて三中綱運航の乗
組員は旅券に替り、船員手帳も持たないといふと見らる。同
手帳の口籍は如何なつてゐるかとの質問があり、取扱
上、内閣の答を

1. 事件に關し、沖縄籍船舶に乗組む船員は琉球
政府の船員法(1960年5月11日)施行規則に依
り、船員手帳の交付を申請し、受有りたりればなら
ず。琉球政府の管海官厅(琉政通商産局、宜古及び

八重山両地方)が発給する船員手帳の形式は別添
のとおりあり、本土籍の船員手帳(別添ニ)と比較して
金

口籍の欄の無い。(註:別添1の本籍欄には手入のほか
記入はなし。DEIGO-CAO, NAHA, OKINAWAと管海官厅

の書ひている由)

以上に對し、民政府が発給している海上保安庁
の身分証明書にも口籍の欄はなく、單に英文で

名前のみとし A RESIDENT OF THE RYUKYUS. 和訳文と
して琉球住民であるのみである。(別添3及び4参照)

2. 上記所載の如く琉球政府は1960年に施行規則を
設け、認証版と印鑑を記入する旨の規定がある。
この規則は、琉球政府の管轄区域に於ける船舶登録
登録の権限を有する者にて、コトヤ・オペルトにて
申入れた後、船舶監視課が内面検査の結果を檢定

する結果、船舶監視課が内面検査の結果を檢定
する結果、船舶監視課が内面検査の結果を檢定

GA-6 外務省

沖縄漁船等の緊急区域に伴う支費の支拂い

つまみせん

41.2 沖縄水産局検査課内(沖縄)

41.7 沖縄漁業課第一課(沖縄)

41.9 " 第一セツカ (7月15日)

41.10 " 第三南洋丸

42.11 " 第一明星丸

沖縄漁業課内(沖縄)の緊急入港対策

(2 船用金を支拂い航行許可を付与する旨)

42.3 (7月15日)

米内課長(沖縄人以處成後、死亡、葬儀等)

北洋(10月調査)

41.8 (12月10日)

沖縄 船員法施行規則第32条第1項には、船員手帳申請は氏名、本籍(沖縄除く)以外の者

あり(国籍有り)、生年月日と記載証明書を添付
(2申請する旨想定しており、同規34条に、船員

手帳に記載(上項規第32条第1項各号に掲げた
事由が有るときは)と記載ある。

以上よりして、沖縄船舶手帳には 国籍欄
なし、かく沖縄除く以外の者、船員手帳には、本籍
欄に 国籍が記載せらるゝ事である。

(参考: 日本国船員法第4、船員手帳の 国籍欄)
設計計28.4又内閣令施行規則第111項、上記沖縄
船員法施行規則第32条、第34条は、付属する 船員
手帳規則付則の第12号 船員手帳交付印法
を準用する。記載心得(2種類の印のうちどちらか
記載する)と記載する。)

沖繩住民が日本国籍を有する根拠

昭和四二年五月八日
外務省

「一九五二年二月二十九日米国民政府布令第六八号として発せられ、一九五七年大統領行政命令によつて確認された琉球政府章典第三条において、「琉球住民とは、琉球戸籍簿にその出生及び氏名の記載をされてゐる自然人をいふ。」とするとともに、「日本国外以外の外国の国籍を有する者または無国籍の者は、法令の規定による場合のほか、琉球戸籍にこれを記載することができない。」と規定して、日本国籍を有することをもつて、沖繩住民たる要件としている。

「一九五四年八月十二日付ハワイ地方裁判所判決 (United States v. Ushi Shirooma) に引用されてゐる国務省法律顧問の見解 (一九五一年五月十四日付) は、

"It is concluded that sovereignty over the Ryukyu and Bonin Islands remains in Japan, and that the inhabitants thereof are Japanese nationals."

下院外交委員会極東太平洋小委員会における講和前補償問題審議の際 (一九六五年七月二十八日) バーガー国務省極東担当国務次官補代理は "It is our view that residents of the Ryukyu Islands are nationals of Japan." と述べた。

裁
無期限

北米局長

参事官

北米課長

法規課長

企画二部
(スクリ)

H

沖縄の船員手帳に国籍を記入

する内規について

(42.6.24.)
半北

24日前 特選局海務課安谷尾事務官より渡辺
仁文氏、櫻井、(41)内閣南洋局の宣詔連絡に

よる琉球政府は船員法施行規則改正を行な
い。5月26日 行政主席の決裁を得て、その内容は

船員手帳に、本土のものと同じ本籍欄の下に國
籍(nationality)欄を設け、沖縄住民の場合

は、(42) Japanと記入することとする。なお
琉改通局運輸部長は、施行規則の改正に対する

反対の立場から USCARと協定する旨(面倒)として
協定存続を付かうと述べた。しかし、内閣連絡した

外務省

GA-6
JUN 26 1942

北米局長
参事官

北米課長

沖縄籍船舶の船員手帳

について

(42.7.7)
北米課

7月7日午後 特選局加藤参事官より沖縄籍船舶
乗組員の所持する船員手帳に関する下記の連絡が
あつた。

記

南方連絡事務所よりの連絡によれば、琉球政府は5月

26日 琉球船員法施行規則を改正し(7月1日より施行)
船員手帳に日本籍欄を設けたところ、6月29日 USCAR

総務局長は行政主席に対し、このような重要な種類の改正を
USCARは相談なく独断で行なうことの遺憾である。

日本と書くことは結構だが、その下に(琉球)と居たまでは
かゆい)と書き加えようとした。この度につき佐藤

GA-6

外務省
1842

南方連絡事務所次長に相談に来た琉球政府の
水産部長は、船舶自旗にも日の丸の上に三角旗を掲げた

ことはしておらず、外航船と異なり内航船につきは「国籍欄」は
空欄とすること、括弧内に書いてある「USCARに対する

便宜供与依頼書が便利であること、旅券を別にもらせれば
よいとして理由として USCARの申入れのひとつりだ」と述べ

た。しかし、特使局は、船員手帳と旅券をもつてくことは
日本は制度上問題はないとしても、実際問題として日本人

であつて、船員手帳をもつながら、さらに旅券を持つことを
あからざるから、括弧内は除外する必要があるた。

旨返答したのである。